

新入荷商品のご紹介



三〇枚以上の型紙を駆使して作られる、三代目更勝の更紗小紋です。エレガントなゴージャスな着姿が演出できます。

三代目更勝 着尺

398000円



丸みのある洋装にも和装にも使いがっつてのいい形。シックでコーディネートしやすい色合いがグッド。

和想庵 バッグ

39800円



鹿革に漆を型染して伝統的な菱の柄を配した、印伝と聞いて皆さんが思い浮かべる『ザ印伝』といった雰囲気魅力的。使い勝手がよく丈夫なので、普段使いのお財布に最適です。

印伝 財布

17820円



和想庵 帯締め

無地系やシックな袖にも帯や小物で印象的な着姿を演出できます。上質な着物や帯には上質な帯締めをコーディネートして、ワンランク上の着姿に……。

14400円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2017年12月号

ごあいさつ



今年ももう残り1か月をきりました。今年はどうな年でしたか？ あっという間に1年過ぎてしまうものですね。今年は自分自身体調を崩してしまうことも多かった1年だったように思います。来年は少しリラックスして体調も整えつつ、趣味にも時間を使っていこうかなんて今から考えています。

皆様1年間ありがとうございました。また来年も宜しくお願い致します。

年末年始のお休み

12月31日(日) 1月1日(月) 2日(火) 3日(水)

特集 沖縄の染め織り



首里花織



花倉織

呉服屋を営んでいる中で、日々いろいろな産地の織物や染物を目にします。着物の産地と言って一番最初に思い浮かぶのは何といても京都だと思います。もちろん京都は着物の産地としてはもっとも大きいことは間違いないのですが、歴史的にみてどちらかというと貴族や上流階級のための産地であり、友禅や西陣織、日本刺繍など贅の限りを尽くした技術が発展してきました。

一方沖縄は琉球王朝時代から王家の染めとして発展してきた紅型をはじめ、その土地その島々の祭礼や日常に密着した織物が現在でも多く存在し、現在でも多彩な染織(紅型、久米島紬、与那国織、芭蕉布、宮古上布、八重山上布、みんざー織、花倉織、琉球絣、道屯織、花織などなど)を見ることのできるもっとも魅力的な地域といえます。他地域とは違い、機械化の道をたどらず未だに昔ながらの作り方を守っているものも多く、織物の原点を見ることができます。



紅型



久米島紬

twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539